

## 第3章 セーフコミュニティ活動の長期展望

### 1 今後のセーフコミュニティ推進に向けた方針

#### (1) セーフコミュニティの基本理念の共有

「けがや事故は偶然の結果ではなく、原因を究明することで予防できる」というセーフコミュニティの基本理念を多くの市民と共有するため、セーフコミュニティの普及啓発活動に努めます。

また、警察、消防、市など地域の安全に関わる機関をはじめ、学校、医療機関、地域活動団体や民間団体等との連携を深め、安全・安心に関する活動の輪を広げていきます。

#### (2) 外傷データ等の有効活用と継続的な取り組みの実施

外傷等動向調査委員会をはじめ、各分野・組織において収集されたデータを分析し、対策委員会における課題解決に向けて有効活用することで、根拠に基づいた安全対策を実施します。

また、毎年、年間活動報告書を作成して支援センターに報告することで、外傷等動向調査委員会や対策委員会において PDCA サイクルに沿った活動の振り返りを行い、取り組みの評価・効果確認を行いながら、見直しや改善を図っていきます。

#### (3) 地域活動の推進及び活性化

久留米市では、小学校区単位のまちづくりを進めており、セーフコミュニティの仕組みを活用しながら、校区内で自主的に行われる安全・安心活動を推進しています。

安全・安心に関する情報を校区へ積極的に提供するとともに、校区間の交流をはじめ他団体との連携を図ることにより、安全・安心活動を市内全域に展開できるように努めます。

#### (4) 国内外のネットワークとの連携

国内外のセーフコミュニティネットワークへの参加を計画的に実施し、各コミュニティと情報共有を行います。国内においては、セーフコミュニティ活動を通じ、認証自治体や準備自治体との協力体制を築いていくとともに、活動が全国に広く認知されるよう努めます。

## 2 久留米市新総合計画に基づく長期的な活動の展開

久留米市では、2000年に21世紀の都市づくりの指針となる「久留米市新総合計画 基本構想」を策定しました。この基本構想は、「水と緑の人間都市」を都市づくりの基本理念に、「誇りがもてる美しい都市 久留米」、「市民一人ひとりが輝く都市 久留米」、「活力あふれる中核都市 久留米」の3つの都市像を目指す都市の姿として掲げ、戦略性と協働性を基本視点とした都市づくりを総合的に進めていくこととしています。

また、この都市の姿の実現に向けて、中期的に取り組む基本的な施策を体系的に示した「第4次基本計画」が2020年度からスタートしています。これからの都市づくりは、市民、事業者、団体、行政などが、それぞれの役割と責任のもとで協働して取り組む必要があります。基本計画は、そのための指針となるもので、各主体が協働して取り組む、都市づくりの地域社会計画です。

この計画の中に、地域、各種団体、関係機関と行政が協働して、日常生活におけるあらゆる分野で予防活動などに取り組むセーフコミュニティの理念が生かされた、安全で安心して暮らすことができるまち、を目指す姿とした、「暮らしの安全対策の推進」が位置付けられており、今後も継続的に取り組んでいきます。

様々な分野にわたる安全・安心の施策の展開について、セーフコミュニティの仕組みを活用することで、PDCAサイクルに沿った体系的な取り組みを協働で進め、すべての市民の安全・安心の向上のための取り組みを継続的・効果的に実施していきます。